

## サツマイモの苗を植えたよ! 焼きイモにして食べたいな



6月3日(水)、上小学校の1年生と2年生が、学校正門横に借りた畑にサツマイモの苗を植えました。苗植えを指導したのは、七つ割地区(大矢野町)の藤原時枝さんを隊長とする上小出身の同級生5人組「イモレンジャー5」の皆さんです。1年生は初めての体験でしたが、「焼きイモにして食べたいな。」と言いながら楽しく植えていました。

苗を植えた後には、藤原隊長から、水をやること、草引きをすること、ツラ返しをすることの「お世話のポイント」について話があり、活動は無事終了しました。



6月9日(火)、登立小学校の1年生と2年生が、学校近くに借りた畑にサツマイモの苗を植えました。苗植えを指導したのは、四郎丸地区(大矢野町)の甲崎区長さんとボランティア10人の皆さんで、蒸し暑い中でしたが、子どもたちは額に汗をにじませながら350本の苗を植えていました。

苗を植えた後、1年生はペットボトルで、2年生はジョーロでたっぷり水をあげました。2学期のイモ掘りとイモパーティには、甲崎区長さんやボランティアの皆さんを招待するそうです。



(避難する時の状況話す 平田実さん)

7/7

## ひめど「つなぐ」集会

姫戸中学校 7.6水害から学ぶ

7月7日(火)、昭和47年7月6日に発生した天草大水害の被害や教訓を中学生に伝え、自分の命を守る力や助け合いの心を育成することを目的に、姫戸中学校で、ひめど「つなぐ」集会が実施されました。毎年この時期に実施されているこの集会では、竹本健朗さん(地域学校協働活動推進員)や細木隆広さん、平田実さんの3人が体験や想いを語りました。

人吉球磨地方で豪雨による甚大な被害と多くの犠牲者が出たばかりで災害に対する危機意識をより強くしました。

広報「上天草」令和2年8月号 まちのわだい



8/3

## 大矢野中学校「地域未来塾」開塾式

苦手なところを克服します!

8月3日(月)、大矢野中学校の「地域未来塾」が始まるにあたり開塾式が行われました。参加を希望した1年生は、4人の学習支援員の先生のサポートのもと、数学と英語の学習に夏休み中の5日間は2時間、2学期からは毎週水曜日の放課後に1時間取り組みます。開塾式の最後に、村上愛実さんが「頑張って勉強して、苦手なところを克服したいです」と抱負を述べました。

※地域未来塾については、18ページの生涯学習だよりをご覧ください。

広報「上天草」令和2年9月号 まちのわだい

## 令和2年度 地域未来塾（地域学校協働活動事業）が 始まりました

市教育委員会では、平成28年度から地域学校協働活動事業の一環として、学校の教室を活用した「地域未来塾」を開催しています。

この事業は、市内の中学校1年生を対象にした地域住民の協力による学習支援事業で、英語と数学の基礎基本をしっかりと学ぶことで、「自己調整力の育成」「学習モチベーションの維持」「自己肯定感の認識」などを目的としています。

学習のサポートとして教科のスペシャリスト6人（学習支援員）が個別指導を行い、生徒のニーズに応えます。

本年度は、大矢野中学校が8月3日（月）にスタートし、姫戸中学校、龍ヶ岳中学校の3校が希望しており、令和3年1月までに約20回の実施を予定しています。（「まちのわだい」の10ページに大矢野中学校での地域未来塾開塾式の様子を掲載しています。）



大矢野中地域未来塾の様子





10/17

**響け! 松島中学校 松島水軍太鼓**  
感動と元気を伝えたい

10月17日(土)、松島中学校学習成果発表会が開催されました。その中で、松島水軍太鼓クラブの20人が、迫力ある見事な演奏を披露しました。

水軍太鼓は、昭和58年に松島青年団で結成されて以来、旧松島町の小中学校の教育活動にも取り入れられてきました。現在は、松島中学校が受け継ぎ、地域学校協働活動の一環として、8月から毎週木曜日の放課後に水軍太鼓保存会の皆さんから指導を受けながら、熱心に練習に取り組んでいます。



9/17~25

**市内小学校で認知症サポーター講座を開催**  
みんなで認知症のことを知ろう

9月17日(木)に中北小3・4年生、18日(金)に姫戸小4年生、25日(金)に龍ヶ岳小4年生を対象とした認知症サポーター養成講座を開催しました。児童や教師の皆さんは、認知症の症状や対応、サポーターの役割などについて学習し、講座の最後には認知症サポーターの証である「オレンジリング」と当市オリジナルの「缶バッジ」が授与されました。

受講した児童からは「これから認知症の人を見かけたりして困っていたら助けようと思った」などの感想がありました。



10/15

### 教良木小学校で稲刈り 今年も黄金色に実りました

10月15日(木)、5・6年生10人が学校近くに借りている田んぼで稲刈りをしました。6月の田植えから途中の管理、稲刈り、脱穀まで地域学校協働活動推進員の永野隆一りゅういちさんと地区の老人会などの皆さんにお世話になりました。5年生の中には、初めて鎌を使って稲刈りをする児童もいましたが、老人会の人に教えてもらい、すぐ上手になりました。

刈り取った稲は、脱穀を行った後、給食や授業で使う予定です。



10/16

### 中北小学校で高齢者疑似体験 相手の立場になって考える

10月16日(金)、3・4年生19人が総合的な学習の時間で高齢者疑似体験をしました。社会福祉協議会と地域学校協働活動推進員の西川みち恵みちえさんの協力のもと、子どもたちは、体の動きを制限するベルトやサポーター、ゴーグルなどを身につけ、いすに座ったり立ったり、階段を上ったり下ったり、お金を数えたり折り紙をしたりして、高齢者の動きの不自由さを体験しました。

その後、相手の立場になってどのような声かけや支援ができるかについてみんなで考えました。



11  
/  
14

## 維和小学校 千束雨乞いドラ太鼓 伝統を引き継ぎます

11月14日(土)、維和小学校学習発表会が開催され、2～4年生22人が、10月から練習してきた千束雨乞いドラ太鼓の演奏を披露しました。維和小学校は、20年ほど前から授業で千束雨乞い<sup>じとく</sup>ドラ<sup>やすのり</sup>太鼓に取り組んでおり、千束地区の山本二徳さんと丸山恭徳さんに教えてもらっています。

4年生の島崎<sup>なみ</sup>凧美さんは、「今年初めての<sup>な</sup>中太鼓<sup>な</sup>だったけど、山本さんと丸山さんに教えていただき、できるようになりました。これからも伝統を引き継いでいきたいです」と話してくれました。